

「ツキノワグマから見た日本の自然環境の現状と課題」の講演会

平成26年10月31日(金)
15:00~17:00
国分寺市立第二中学校 図書室

1 出席者(21名)

会長	田中 史人 (八王子市立松木中学校長)		
委員長	清水 和彦 (八王子市立陵南中学校長)		
副委員長	遠藤 淳 (府中市立府中第六中学校長)		
副委員長	岩崎 守也 (八王子市立南大沢中学校長)		
副委員長	大沢 秀吉 (青梅市立青梅第三中学校副校長)		
杉並区立松ノ木中学校	千葉 基宏	世田谷区立松沢中学校	鈴木 斉
小金井市立小金井第一中学校	島村 美津男	武蔵村山市立第三中学校	東鶴 佑子
小平市立小平第六中学校	小林 順子	小平市立小平第一中学校	大野 亜希
小平市立小平第一中学校	渡部 泰子	江戸川区立小岩第四中学校	石川 三恵子
府中市立府中第十中学校	山田 光一	府中市立府中第十中学校	井口 恵
墨田区立両国中学校	黒田 俊一	八王子市立南大沢中学校	愛甲 仁
大田区立大森第二中学校	渡部 美由記	府中市立府中第三中学校	黒岩 理
府中市立府中第六中学校	山本 恵利華	早稲田大学高等学院中学部	中山 匠

2 講演内容

「ツキノワグマの生態と日本の環境について 森林生態系の一員であるクマの知られざる姿について」
東京農工大学農学部、地域生態システム学科 小池 伸介 先生

- ① クマと人間とのかかわり
- ② 世界のクマについて
- ③ 8種類のクマの分類
- ④ 日本のクマ類
- ⑤ ツキノワグマはどんな動物か
- ⑥ 1978年と2013年のツキノワグマの分布の変化
- ⑦ 日本のツキノワグマの遺伝的特徴
- ⑧ ツキノワグマの生息環境(ブナやミズナラが優占する森林に生息)
- ⑨ ツキノワグマは何を食べているか
- ⑩ クマの1年、クマの体重の季節変化
- ⑪ クマの冬眠、なぜ冬眠するのか
- ⑫ クマの繁殖
- ⑬ 年によって食べ物は変わるのか
- ⑭ どんぐりのなりとクマの駆除数、目撃数との関係
- ⑮ ミズナラのなりは同調する?
- ⑯ ブナ科堅果類の豊凶とクマの行動との関係
- ⑰ クマの人里への出没の増加と考えられている要因
- ⑱ 日本のツキノワグマをめぐる課題
- ⑲ 森を作る動物、果実との関係
- ⑳ いろいろな生物との結びつきの中で、自らの棲み場所をつくるクマ



クマは雑食であるが、植物質、特に果実に偏っていること、季節によって食べ物や食べる量が変わること、クマ、ネズミや糞虫などいろいろな生物が関わり合って森を作っていることなどを学ぶことができました。

また参加者からツキノワグマの生態や日本の森林環境について、多くの質問が出ました。